



文部科学省におけるいじめ防止対策

いじめ防止対策に関する関係省庁連絡会議（令和7年11月21日）

文部科学省 初等中等教育局

いじめの防止

いじめ未然防止教育のモデル構築

- ✓ 令和7年度中にいじめ未然防止教育に関する指導過程を解説した教職員用動画教材等を作成
→今後、指導教材等の周知徹底により、**各学校におけるいじめ未然防止教育の実施**

重大事態調査報告書を活用したいじめの質的分析のための専門家会議

- ✓ 国に提供された重大事態報告書を分析し、いじめの防止・重大化予防のための留意事項集等を作成
→今後、留意事項集の周知や、研修用事例集を活用した研修の実施を促すことにより、**各学校におけるいじめの重大化の防止に向けた取組を促進**

早期発見・対処

子どもの視点に立った相談体制の充実

- ✓ 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」について、各学校における導入を推進
※小学校 R6:46.5%→**R7:54.9%** 中学校 R6:55.2%→**R7:57.5%**
→学校のICT環境整備3か年計画（2025～2027年度）における、1人1台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツールの整備に必要な経費を踏まえて**地方財政措置**
- ✓ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー（SC・SSW）の配置
→R8概算要求では、SC・SSWの重点配置校などを拡充して要求（86億円→95億円）し、**相談体制の充実**を図る

教育・福祉・警察等連携による加害児童生徒への対応の強化

- ✓ 加害児童生徒への指導・支援等について警察OB・OG等の多職種の専門家によるチーム支援を行うために教育委員会に「いじめ対策マイスター」を設置するモデル事業を実施
→いじめ対策マイスター事業を再構成し、SNS等によるいじめ等にも対応できるよう、従来想定していた専門家に限らず、これらに対応する専門家も含めた支援チームを教育委員会に設置し、**いじめの重大化の防止及び再発防止**を目指す

ネットいじめ、ネット上の誹謗中傷対策の強化

- ✓ ネットいじめを含めたいじめの未然防止教育のモデル事業を実施するとともに、ネットいじめの未然防止に資する啓発動画を作成
→児童生徒の利用が多い**SNS等を活用**して、発信を行い、**周知徹底**を図る

地方公共団体・学校の実施する取組の充実

学校・教育委員会等の重大事態対応に関する平時からの備えの徹底

- ✓ 学校及びその設置者において、重大事態ガイドラインのチェックリストを活用した平時からの備えを点検するとともに、取り組み状況について調査実施
→**調査結果のとりまとめ・公表を行う**とともに、取組状況を踏まえた、**指導・助言を実施**

重大事態対応等に関する教育委員会・首長部局等への助言

- ✓ 改訂ガイドラインの内容周知とともに、国のサポートチームを教育委員会等に派遣し、取組改善に関する助言を実施
→引き続き、**改訂内容を周知**するとともに、令和7年度においても、**国のサポートチームを派遣し、取組改善に関する助言**を実施

いじめは決して許されるものではなく、全ての児童生徒にとって安全で安心な学校づくりに向けて、いじめの未然防止・早期発見・早期対応・再発防止の総合的な取組を実施

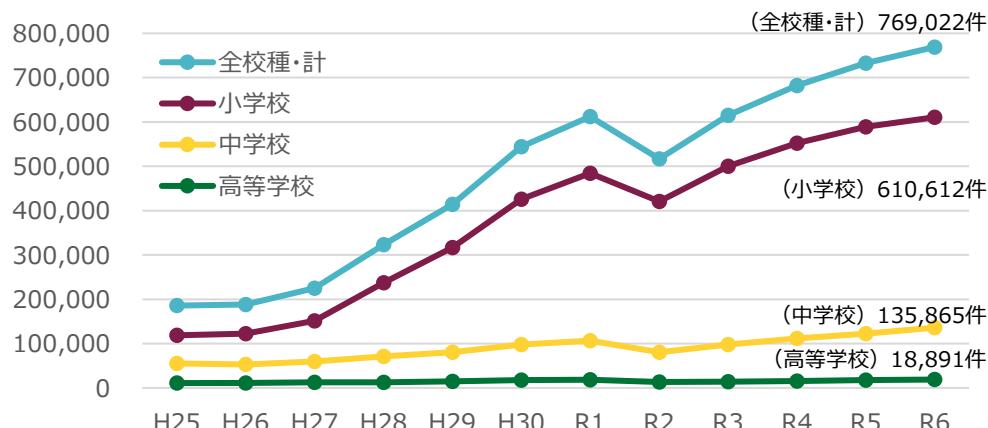
いじめ防止に向けた総合的な対策の推進について

令和8年度要求・要望額
(令和7年度予算額)

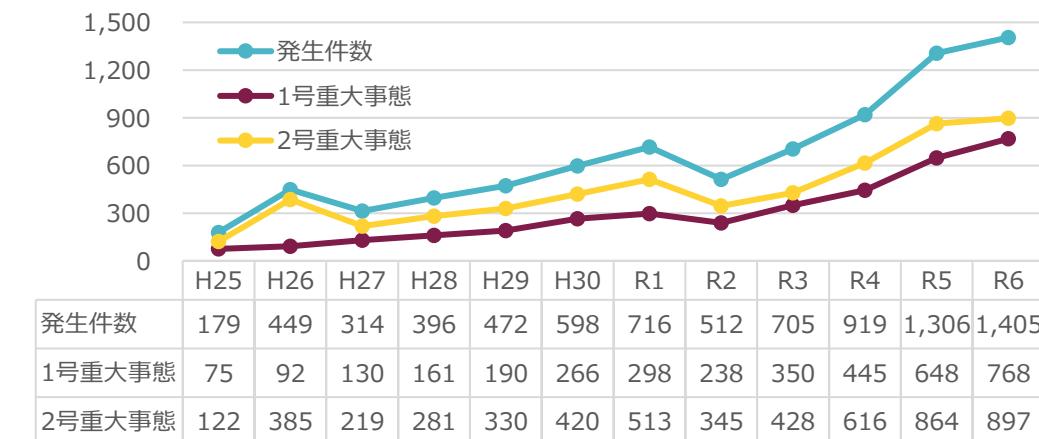
141億円
130億円



■ いじめ認知件数の推移



■ いじめ重大事態の発生件数の推移



いじめ防止対策推進法等に基づき、積極的認知や組織的対応の徹底、いじめ重大事態調査の適切な実施を推進。
文部科学省と子ども家庭庁を共同議長とし、関係省庁を構成員とする「いじめ防止対策に関する関係省庁連絡会議」、有識者による「いじめ防止対策協議会」等を通じて、取組の検証・いじめ防止対策の強化を図る。

未然防止

- ✓ いじめ未然防止教育のモデル構築・啓発資料の普及促進
【R8要求・要望額：0.1億円】
- ✓ 「特別の教科 道徳」の着実な実施などによる道徳教育の充実
【R8要求・要望額：42億円（43億円）】
- ✓ 「多様性を認め、人権侵害をしない」児童生徒の育成に向けた人権教育の推進
【R8要求・要望額：0.3億円（0.3億円）】
- ✓ 健全な発達に資する体験活動の充実
【R8要求・要望額：2億円（1億円）】

早期発見・早期対応等

- ✓ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実
【R8要求・要望額：95億円（86億円）】
- ✓ SNS等を活用した相談体制の整備
【R8要求・要望額：95億円の内数（86億円の内数）】
- ✓ いじめ対応伴走支援チーム（仮称）のモデル構築による、個別のいじめ事案への対応等に伴走できる体制の構築
【R8要求・要望額：2億円】
- ✓ 一人一台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進
※ 学校のICT環境整備3か年計画（2025～2027年度）における、1人1台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツール（例：児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、支援するツール）の整備に必要な経費を踏まえて地方財政措置
- ✓ 教育行政に係る法務相談体制の整備
【地方財政措置】

その他

- 「いじめ防止対策に関する普及啓発協議会」等におけるいじめ防止対策の普及啓発
- 法に基づいた対応に係る教職員研修の実施、ネットいじめ対応に係る啓発動画の作成
- 「いじめ問題子供サミット」の開催

いじめ重大事態への対応

- ✓ 重大事態の国への報告に基づく学校設置者等への指導・助言 ※非予算
- ✓ 改訂版「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の周知 ※非予算
- ✓ 重大事態の未然防止に向けた国のサポートチーム派遣 ※非予算

子ども家庭庁の取組

- ✓ 地域ネットワーク構築による子ども支援事業
【R8要求・要望額：10億円】
- ✓ いじめ調査アドバイザーによる第三者性の確保
【R8要求・要望額：0.1億円】